

玉木 優

トロンボーン・リサイタル

芦屋市出身、デンマーク在住
世界を舞台に活躍するソリスト
ふるさと芦屋での初リサイタル

ピアノ 秋元孝介 (葵トリオ)

帰郷

YU TAMAKI TROMBONE RECITAL

Program

菅野よう子：花は咲く

シューマン：献呈

挟間美帆：トロンボーン・ソナタ第1番 (玉木優委嘱新作 日本初演)

ガーシュイン：3つのプレリュード

グレンダール：トロンボーン協奏曲

中川英二郎：トライセンス ほか

※ 曲目は変更になる場合があります

2022年 **10/15** [土] 3:00PM 開演 2:15PM 開場

ルネサンスクラシックス芦屋ルナ・ホール

芦屋市のネーミングライツ制度により、6月1日から名称が変わりました

芦屋市業平町 8-24, 〒659-0068 JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅より徒歩約7分、阪神芦屋駅より徒歩約8分

全席指定 一般 3,000円 (当日3,500円)

高大、院生 1,500円 (当日 同料金)

小中学生 1,000円 (当日 同料金)

※未就学のお子様への入場はご遠慮ください。

7月8日(金) 9:00AM チケット発売

芦屋市民センター事務所 (9:00AM~5:30PM (日・祝は 5:00PM まで)、火曜休)

芦屋市役所売店 (南館地下1階 9:30AM~5:00PM 平日のみ)

ローソンチケット (Lコード 53949)

主催：芦屋市、芦屋市教育委員会

問い合わせ：芦屋市民センター ルナ・ホール事業担当 TEL 0797-35-0700

玉木 優 トロンボーン

Yu Tamaki, Trombone



世界各地を舞台に活動を続けるソロトロンボーン奏者。ソロ演奏を軸に、オーケストラ、室内楽、教育、執筆、プロデュースなど多岐に展開。プロアルテムジケ(東京)、S.E. シャイアーズ社(ボストン)、willie's Custom Brass社(山梨)公式アーティスト。島根ふくたまフェスティバル音楽監督。現在デンマーク在住。

兵庫県芦屋市出身。芦屋市立精道幼稚園(当時)、精道小学校、精道中学校卒業。精道中学校吹奏楽部でトロンボーンをはじめ。兵庫県立西宮高校音楽科、京都市立芸術大学を経て単身渡米。ミシシッピ交響楽団首席奏者、ミシシッピ大学講師、ピッツバーグ / デュケイン大学大学院助手を務めたのち帰国。小澤征爾監督の東京のオペラの森、サイトウキネンオーケストラに参加。東京佼成ウインドオーケストラに2年在籍後、文化庁海外研修制度により渡欧。スイス・ベルン芸術大学を首席で修了後、南デンマークフィルハーモニー管弦楽団に入団。ラフォルジュルネ音楽祭(仏ナント)に出演。2018年1月、ソロ活動に専念するためにオーケストラを退職しソリストとして独立。以来大陸間を行き来しながら独自の活動を続けている。イアン・パウスフィールド、ピーター・サリヴァン、呉信一、山下浩生の各氏に師事。

近年は、世界各地でのソロリサイタル、コンチェルト共演やマスタークラス出演、インターナショナル・トロンボーン・フェスティバル(米国)によるソロリサイタルの招待、ジョセフ・アレッシ(NYフィル首席)、イアン・パウスフィールド(ソリスト)、シュテファン・シュルツ(ベルリンフィル)、ピーター・サリヴァン(ピッツバーグ響首席)、コリン・ウィリアムズ(NYフィル副首席)、など世界第一線のトロンボーン奏者らと共演。また、ソロトロンボーンの音楽表現探究のため、サミュエル・アドラー、伊藤康英、抜間美帆、ジェフリー・ゴードン、関美奈子など、世界の名だたる作曲家へ新作委嘱を行っている。異分野コラボレーションにも積極的で、青山健一(画家 / 映像作家 / 舞台美術家)、入手杏奈(ダンサー)、荻堂桂輔(アルテシンプジオ・オーナーシェフ)、湯村洋(真田貿易)などと共演。

2021年-2022年シーズンは、オオサカシオンウインドオーケストラ第138回定期演奏会での協奏曲共演(大阪:ザ・シンフォニーホール)、アメリカ・NYのジュリアード音楽院公演を皮切りに30公演以上に渡る全米ツアー、アーカンソーでのインターナショナル・トロンボーン・フェスティバルでのソロリサイタル、ワシントンDCでの米国軍楽隊Pershing's Ownとの協奏曲共演、日本、デンマークでのソロツアーなどを予定している。

2021年-2022年シーズンは、オオサカシオンウインドオーケストラ第138回定期演奏会での協奏曲共演(大阪:ザ・シンフォニーホール)、アメリカ・NYのジュリアード音楽院公演を皮切りに30公演以上に渡る全米ツアー、アーカンソーでのインターナショナル・トロンボーン・フェスティバルでのソロリサイタル、ワシントンDCでの米国軍楽隊Pershing's Ownとの協奏曲共演、日本、デンマークでのソロツアーなどを予定している。

日本人金管楽器奏者として初、国際音楽コンクール世界連盟加盟の2つのコンクールと、国内最大の2つのコンクールにて入賞。第26回日本管打楽器コンクール審査員7名満場一致での第一位、第6回チェジュ国際金管楽器コンクール(韓国)第二位ほか受賞多数。ソリストとして、日本センチュリー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、東京ニューシティ管弦楽団、アメリカ陸軍軍楽隊"Pershing's Own"、オオサカシオンウインドオーケストラ、東京佼成ウインドオーケストラ、スーパーストリングスコーベなどと共演。これまでに日本、アメリカ、スイス、デンマーク、韓国にてソロリサイタルを開催、ドイツ、フランス、イタリア、イギリス、ノルウェー、スウェーデン、チェコ、トルコ、台湾などでもオーケストラや室内楽を演奏。

2018年には1stソロアルバム"Love and Chaos"を、翌2019年には2ndアルバム"Colors for Trombone"、続いて1stシングル"Game from An;G;E!"をリリース。トロンボーンデュオ『たましみず』(第22回青山音楽賞バロックザール賞受賞)、トロンボーンアンサンブル『スライドジャパン』各メンバー。

YU TAMAKI TROMBONE RECITAL

秋元 孝介 ピアノ

Kosuke Akimoto, Piano

2018年、葵トリオのピアニストとして、第67回ミュンヘン国際音楽コンクールピアノ三重奏部門で日本人初の優勝。現在は日本とヨーロッパで演奏活動を行いながら、明治安田クオリティオブライフ文化財団海外音楽研修生として、ミュンヘン音楽演劇大学大学院、東京藝術大学大学院音楽研究科博士後期課程にて更なる研鑽を積んでいる。

これまでに、第2回ロザリオ・マルシアーノ国際ピアノコンクール第2位、第10回パデレフスキ国際ピアノコンクール特別賞などを受賞。また葵トリオとして、第28回青山音楽賞「バロックザール賞」、第29回日本製鉄音楽賞、第22回ホテルオークラ音楽賞を受賞している。

ピアノソロをはじめ、オーケストラとの共演やアンサンブル活動も積極的に行っている。昨年は国内各地をはじめ、ドイツ、フランス、イタリア、チェコでコンサートを行い、好評を博した。これまでにリリースされたCDは、有森博とのピアノデュオによるストラヴィンスキーの「春の祭典」がフォンテックより、葵トリオによる2枚のアルバムがマイスターミュージックより発売されており、いずれも特選盤に推薦されている。また、今年の2月にはポルトガル出身の若手クラリネット奏者セルジオ・ピレシュとのCDがC'Avi Musicより発売された。

西宮市出身。兵庫県立西宮高等学校音楽科を卒業後、東京藝術大学音楽学部、同大学院音楽研究科修士課程をそれぞれ首席で修了し、サントリーホール室内楽アカデミーでも研鑽を積んだ。これまでに緒方裕子、片山優陽、青井彰、有森博の各氏に師事。

秋元孝介オフィシャルサイト：<https://kosukeakimoto.com>

